

第3号議案

平成24年度事業計画の承認について

◎ 方針

- 東日本大震災では、東北・関東の太平洋沿岸部を津波が襲い2万人近い死者・行方不明者を出し、基幹産業の農林漁業をはじめ、数多くの産業に壊滅的な打撃を与えた。さらに東京電力・福島第一原子力発電所事故が発生し、すべての周辺住人が避難を余儀なくされ、放射性物質の大量飛散に伴う環境汚染は甚大な被害をもたらした。一瞬にして暮らしを奪われた人々と動物のことを思うと原子力を平和利用として展開してきたシステムが、大自然の脅威の前では安全神話の科学などあり得ないことに気付くべきであった。夢の先端科学エネルギーと称して開発推進しながら、事故の際の対応策・解決策の見えない原子力科学・原子力の平和利用を根本から議論すべきである。

この大惨事から一年が過ぎ、少しずつ復旧・復興が進みつつあるが、被害が余りにも大きく、特に原発事故地域は手付かずの状態であり、国内外からの一層の支援活動の必要性が求められている。

- 獣医界においても、獣医師仲間の被災、診療施設の被害そして多くの動物たちも一瞬のうちに命を奪われた。幸いにして被災を乗り越えた獣医師をはじめとするボランティア活動により、多くの被災家庭動物が救助され、大きな成果を上げていることに心より感謝したい。一方、放射能汚染による警戒区域内の牛・豚・ニワトリ・犬・猫等の動物たちの悲惨な光景は慙愧にたえない気持ちでいっぱいである。この度の教訓をいかに活かすべきかが課題であり、災害時の被災動物救助マニュアルを常に改善し、危機管理体制を構築していかなければならない。
- 近年、動物愛護法も改正が進み、人と動物の共生や愛護・福祉の思想が一層深まる社会の中、倫理観に基づくインホームドコンセントに配慮した獣医療の提供をはじめ、国民への高品質畜産物の安定的供給のため畜産の振興に寄与すること、食品の安全・安心の確保など公衆衛生の向上を図り、安全な国民生活の維持向上のため、新型インフルエンザ、狂犬病、口蹄疫などの人獣共通感染症、海外悪性伝染病対策など防疫に万全を期すこと、そして青少年健全育成支援として「いのちの授業」を全県下に浸透させるなど、人と動物の健康と生命に深く関わる社会貢献活動などを積極的に推進することとする。
- 特に今年度より岐阜県は獣医師会の長年の念願であった動物愛護センター創設に向け一歩踏み出した。その先駆けとして、「傷病野生鳥獣保護リハビリセンター」を先行して建設の予定であり、これまでの保護活動の拠点とし将来の愛護センター新設につなげてまいりたい。特に災害時における被災動物の救護活動の中核拠点としての位置づけは早急の課題として期待したい。
- 我々は社会情勢を的確に把握し、本会に寄せられる多くのニーズや課題に全会員が一致団結して取り組み、獣医師・獣医師会としての社会的責任を果たして行きたい。特に今年度は次の項目を重点事項として取り組むこととする。
 1. 公益社団法人化に向け、社会貢献活動の充実に努める。
 2. 自然災害・伝染病発生時等の危機管理体制を点検する。

◎ 事業計画

I 人と動物との共生・食の安全確保対策事業

[1 人と動物の共生対策]

- (1) 地域獣医療体制の強化
 - ・家庭飼育動物の健康保持への支援
 - ・岐阜大学動物病院との連携、支援
 - ・夜間・休日診療施設への支援
- (2) 狂犬病予防対策
 - ・狂犬病及び同病予防の啓発
 - ・予防注射体制の整備
 - ・予防注射の市民への広報
- (3) 動物愛護活動
 - ① 動物愛護フェスティバルの開催（9月16日：かかみがはら航空宇宙科学博物館）
 - ・動物ふれあい広場
 - ・絵画・作文コンクールの実施・表彰
 - ② 日本獣医師会主催の「世界獣医師の日・動物感謝デー」への参加出展（10月6日：東京 駒沢オリンピック記念公園）
 - ③ 動物愛護推進員の活動支援
 - ④ 「動物の愛護管理に関する拠点施設の整備」の促進
- (4) 学校飼育動物サポート事業
 - ・サポート事業の実施
 - ・シンポジウムの開催
 - ・教育委員会との連携強化
 - ・受託先の拡大
- (5) いのちの授業の実施
 - ・七つのテーマで小中学生を対象に出前授業を実施
- (6) 被災動物・危機管理対策
 - ・岐阜県との「災害時における動物の救護活動に関する協定」の体制強化
 - ・県防災計画（被災動物救護マニュアル）に呼応した応援体制の整備
 - ・日本獣医師会等県内外関係機関との連携の強化
- (7) 動物介在活動の促進
 - ・アニマルセラピーの普及・啓発
 - ・身体障害者補助犬を通じた福祉分野との連携の強化
- (8) 自然環境保全活動

野生鳥獣保護対策活動と自然環境保全活動を積極的に推進する。

 - ① 傷病野生鳥獣保護対策、自然環境保全等の講習会（県委託事業）の実施
 - ② 岐阜県が計画する傷病野生鳥獣救援マニュアルの実践
 - ・機能充実化への支援、関係機関への意見具申
 - ④ 特定非営利活動法人野生動物救護獣医師協会(WRV)岐阜県支部等との連携強化

- ⑤ 釣り糸回収事業
 - ・各支部を通じて野生鳥獣保護と自然環境保全に関する市民への啓発
- ⑥ 木曾馬の保存活動への支援
- ⑦ 特定外来生物対策等への参加、協力

[2 食の安全性確保対策]

(1) 畜産振興支援

- ① 動物用医薬品の適正流通・適正使用の指導
 - ・指示書の厳正な取り扱い指導
 - ・県機関との連携によるチェック機能の強化
- ② ポジティブリスト制度の適切な運用
- ③ BSEに係る死亡牛検査の徹底と地域獣医療体制の支援
- ④ 家畜伝染病、災害発生時等の風評被害対策
- ⑤ 人獣共通感染症、海外悪性伝染病防疫の徹底
- ⑥ 産業動物獣医師確保対策の支援

(2) 食品衛生対策

- ① 岐阜県畜産フェアへの参加
- ② 食と動物の感謝祭への参加(5月19日：岐阜駅前)
- ③ 食肉・食鳥検査・食品衛生対策の支援
- ④ 畜産物の適正流通の監視
- ⑤ 公衆衛生獣医師確保対策の支援

II 獣医学術普及事業

(1) 人獣共通感染症の普及啓発

- ① 狂犬病免疫水準の確保等、狂犬病防疫の徹底
 - ・市町村担当職員への専門研修会の開催支援
- ② その他人獣共通感染症対策の普及啓発

(2) 獣医技術開発事業の実施

- ① 家畜自衛防疫体制の強化
 - ・新規ワクチンの導入・普及の検討とその検証
- ② 獣医学術研修会の開催
- ③ 各種研修会・講習会への参加促進
- ④ 会員の卒業後教育システム、特に日本獣医師会の獣医師生涯研修事業への参加促進

(3) 日本獣医師会獣医学術学会及び中部三学会への参加支援

- ① 25年2月に大阪市で開催される年次大会(大阪)に参加支援
- ② 24年9月に金沢市で開催される中部三学会への参加支援

(4) 岐阜大学の獣医学教育の充実に対する支援、連携

- ① 「社会における獣医師の役割」の講義による獣医学教育の充実の支援
- ② 地域獣医療向上のための獣医学教育水準向上の要望と支援

(5) 広報活動の強化

会員間の情報の共有化・迅速化と市民に軸足を置いた広報活動の強化

- ① 会報の発行（年2回）
- ② ホームページの充実、市民に本会活動と関連情報を提供
- ③ 各支部・部会への情報発信
- ④ 報道機関等への広報活動

Ⅲ 会員互助慶弔事業

- (1) 会員及びご家族への弔慰給付の実施
- (2) 本会への功労及び優秀発表の会員への表彰（県知事賞・中獣連会長賞・本会会長賞など）の実施

Ⅳ 組織運営事業（法人会計）

- (1) 組織体制の整備
 - ・公益社団法人化への移行認定申請
 - ・諸規程・財務体制等の整備
- (2) 支部・部会活動の強化
- (3) 各種会議の開催
 - ・総会、理事会、監事会、支部長・部会長会議、各種委員会等の開催
- (4) 関係機関との連携
 - ・日本獣医師会、中部獣医師会連合会への建議と、その活動への参加
 - ・県関係部局（農林水産、健康、環境、教育等の各分野）との連携強化
 - ・畜産・公衆衛生・動物愛護・環境保全、その他関係諸機関との連携強化
- (5) 獣医事特別対策事業
 - ・獣医師の社会的、経済的基盤の確立への取組み
 - ・勤務獣医師の待遇改善と雇用対策支援
 - ・関連法令の熟知と獣医師倫理の向上対策
- (6) その他本会の目的達成に必要な事項への取組み